



岩手県立黒沢尻北高等学校



楽屋インタビュー

- 1 本番を終えて、どんな気分ですか？
 - ・お腹減った(ぐ〜) ・腰が痛い(涙)
 - ・やっちまった(汗) ・ここでおられない(決意)
- 2 本番中ハプニング
 - ・役者が泣く
 - ・緞帳が明るい
- 3 思い出に残った台詞

「私のことを、この世界にいなかったことにしないでください」
- 4 大会期間中、部活内で流行ったワード・行為

毎日あんなに練習してるくせに何言ってやがる。俺が何も知らないと思うなよ。俺は今一
- 5 見てくれたお客さんに向けて

私たちと同じ年頃の女の子が悲惨な人生を歩み、決して長くはなかった一生を終えたという現実を知り、また興味を持つきっかけになればうれしいです。ありがとうございました。



お客さんインタビュー

- 舞台装置を複数の用途(棚、ドア等)で使う表現や、物語の背景に社会問題が取り上げられているのも現実味が強まって理解と発想が深まった。
- タイトルからは想像できない結末とメッセージ性、またそれらを心のこもった迫力のある演技で表しており、見ていて楽しかった。

運営委員が観た！
この劇の感想

- 本棚が壁や扉、ベランダにまで変身してしまうので、シーンによって動きが細かく、夢中になりました。様々なキャラクターを演じ分けるキャストの方々の幅広い演技のため、舞台上には3人しかいないのに迫力がありました。ラプンツェルの正体と、はんなとの関係が切なく、引き寄せられる世界観で面白かったです。 担当：外山(宮城学院)
- 全体的に完成度が非常に高く、最初から最後まで見応えのある上演でした。演技の巧みさに照明や音響が加わることで、不安や恐怖が臨場感を伴って感じられました。照明を使った空間演出も高校演劇ではあまり見られないもので印象的かつ魅力的でした。この上演を通して自分自身を見つめ直す貴重な時間になりました。 担当：古郡(宮城学院)